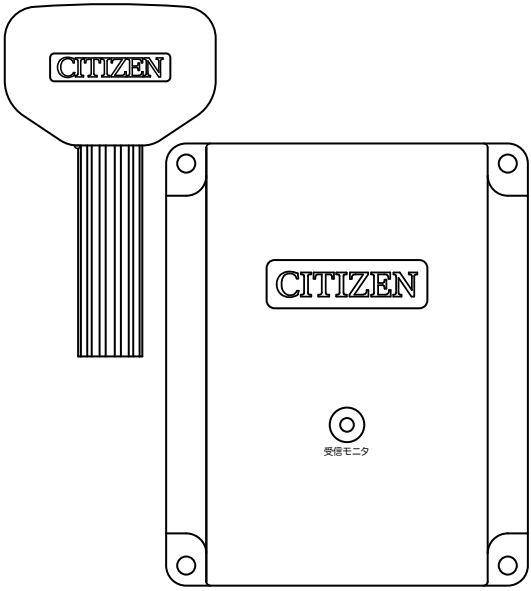
CITIZEN
Micro HumanTech

電波時刻補正装置

JJY-200



取 扱 説 明 書

第２版

シチズンTIC株式会社

も　く　じ

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・3
付属品の確認・・・・・・・・・・・・・・3
安全上のご注意事項・・・・・・・・・・・4
各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・5～6
電波時計について・・・・・・・・・・・・7
設置について・・・・・・・・・・・・・・8～9
動作仕様・・・・・・・・・・・・・・・・10
標準電波受信状況確認・・・・・・・・・11
電波を受信できない場合・・・・・・・・11
アプリケーションソフトについて・・・・12～26
出力信号の詳細・・・・・・・・・・・・27～28
製品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・29
アフターサービスについて・・・・・・・30
お問い合わせ・・・・・・・・・・・・・30
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・31

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。本装置を正しく安全にお使いいただくために、必ず本装置に関する安全上の注意および取扱説明書をよくお読みいただき、十分ご理解の上で使用してください。また、お読みになった後も必ず保管してください。
この製品は国内用で、海外では使用できませんのでご注意ください。

付属品の確認

長波アンテナ ――――――――――――――――― 1 個
(MVVS 12/0.18mm 4 芯　3m 付属)
信号変換器 ――――――――――――――――― 1 個
ＰＣ接続用ケーブル（1.5m）――――――――― 1 本
ＡＣアダプタ (信号変換器用) ――――――――― 1 個
アプリケーションソフト・セットアップ CD ――― 1 枚
取扱説明書 ――――――――――――――――― 1 冊

安全上のご注意事項

○表示の説明について

本装置を正しく安全にお使いいただくために、必ず本装置に関する安全上の注意および取扱説明書をよくお読みいただき、十分ご理解の上で使用してください。

警告	取扱いを誤った場合、取扱者の生命や身体に危険が及ぶ恐れがあります。
注意	取扱いを誤った場合、取扱者及び設備の傷害の危険が及ぶ恐れがあります。
禁止	行為の禁止事項です。
強制	必ず実行していただく行為の強制事項です。

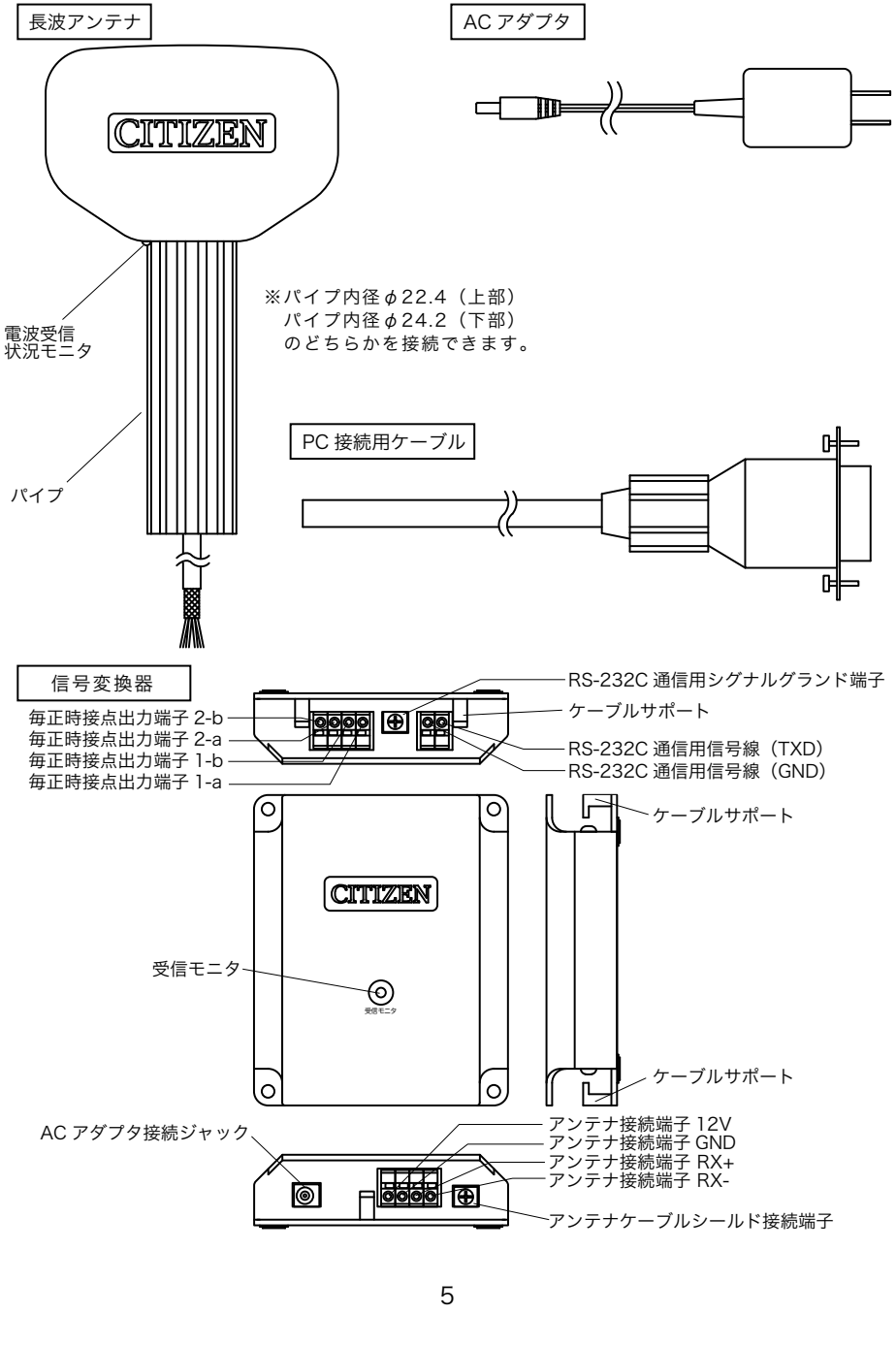
AC アダプタについて	
警告	★AC100V 以外の電源は使用しないでください。 ★感電防止のため、分解、改造、修理はしないでください。 ★水のついた手で取り扱わないでください。(湿気、水気の多い場所も不可。) ★コードを持ってコンセントを抜かないでください。

接続について	
強制	★AC アダプタは必ず指定品 (付属品) を使用してください。 (指定品以外のアダプタを使用すると故障の原因になります。) ★AC アダプタは必ず AC100V(50/60Hz) の電源コンセント (商用電源) に接続してください。(電圧の違う電源コンセントに接続すると火災を起こすことがあります。)

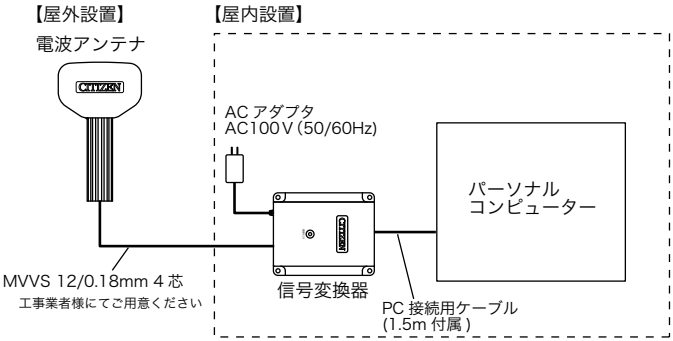
製品の用途について	
警告	人命に直接関わる医療機器関連のシステムなどで使用しないでください。

製品の分解について	
禁止	分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けもしないでください。 火災、ケガ、感電などの事故または故障の原因となります。

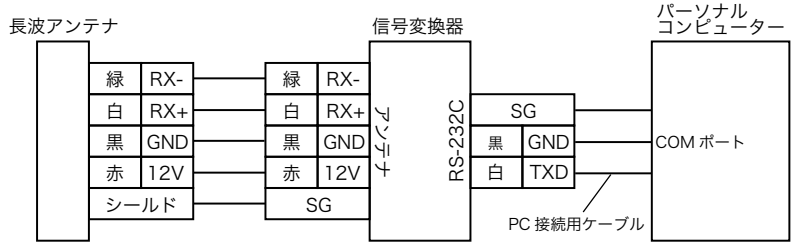
各部の名称


長波アンテナ
CITIZEN
電波受信
状況モニタ
パイプ
※パイプ内径φ22.4（上部）
パイプ内径φ24.2（下部）
のどちらかを接続できます。
AC アダプタ
PC 接続用ケーブル
信号変換器
毎正時接点出力端子 2-b
毎正時接点出力端子 2-a
毎正時接点出力端子 1-b
毎正時接点出力端子 1-a
RS-232C 通信用シグナルグランド端子
ケーブルサポート
RS-232C 通信用信号線（TXD）
RS-232C 通信用信号線（GND）
ケーブルサポート
CITIZEN
受信モニタ
受信モニタ
ケーブルサポート
AC アダプタ接続ジャック
アンテナ接続端子 12V
アンテナ接続端子 GND
アンテナ接続端子 RX+
アンテナ接続端子 RX-
アンテナケーブルシールド接続端子

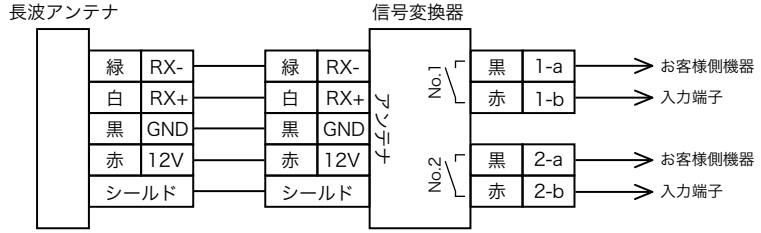
○系統図



○RS-232C 信号接続



○無電圧接点接続



電波時計について

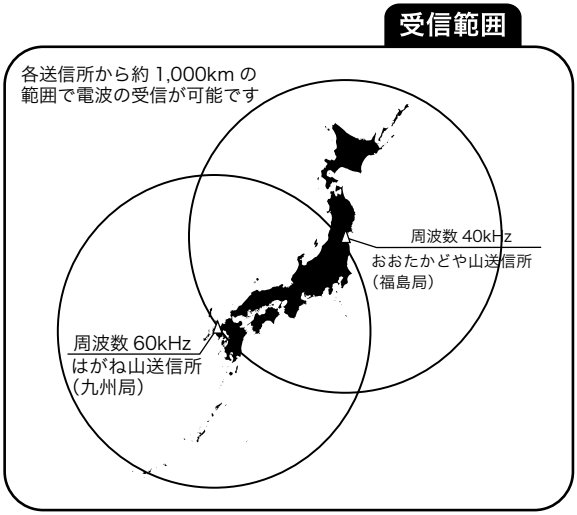
◆長波帯標準電波 (JJY) とは

長波帯標準電波 (JJY) は、周波数や時間の「基」となる国家標準値を定める公的機関である独立行政法人情報通信研究機構から送信される日本標準時（JST）の情報です。この製品は、長波帯標準電波を受信して正確な時計を表示しています。

◆受信について

受信範囲であっても地域、地形などの影響、電波障害（受信時間帯、天候など）によって受信できない場合もあります。また、今まで受信していて急にできなくなった場合は、独立行政法人情報通信研究機構で標準電波を停波している場合がございます。標準電波の停波などの詳細情報は、独立行政法人情報通信研究機構のホームページでご確認できます。

独立行政法人情報通信研究機構：http://www.nict.go.jp/



■使用場所について

本製品は電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい屋外や窓際などに設置してください。電波ノイズの発生する機器（特にインバーター内蔵機器）の近くでの使用は避けてください。また次のような環境下においては、正確に受信できない場合があります。

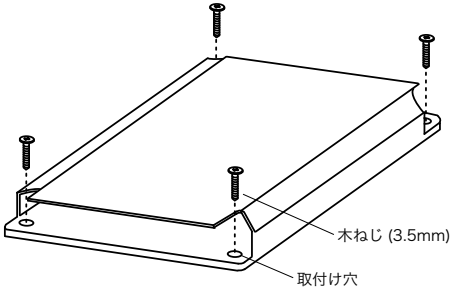
・ビルの中、ビルの谷間、地下など
・高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く
・金属製の雨戸やブラインドの近く
・テレビ、冷蔵庫、エアコンおよびエアコン室外機、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やＯＡ機器の近く。
・工事現場、空港の近く、軍事基地や交通量の多い所など電波障害の起きる所

設置について

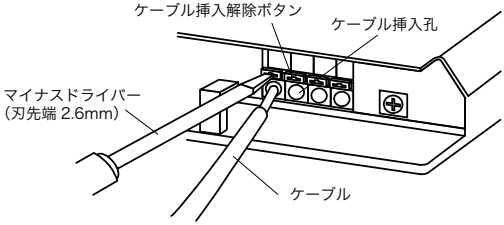
信号変換器は滑り止めがついておりますので、平らな所であれば固定しなくても問題ありません。壁に掛ける場合や不安定な所に設置したい場合は固定してください。

○信号変換器を固定する場合

信号変換器は、木ねじにて固定します。　※木ねじは付属しておりませんのでご用意ください。

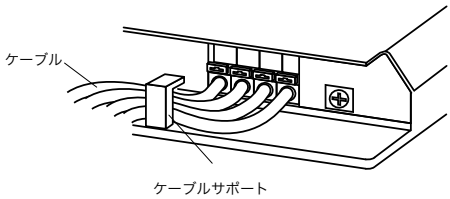


○ケーブルの接続について



マイナスドライバーでケーブル挿入解除ボタンを押しながら、ケーブルをケーブル挿入孔に差し込んでください。挿入後ケーブル挿入解除ボタンを押すのをやめてケーブルが取れないことを確認してください。

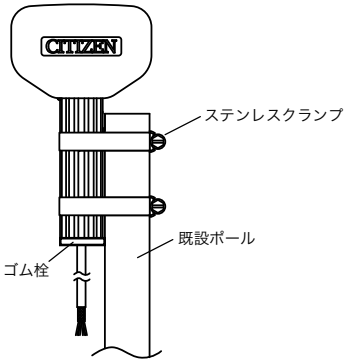
○ケーブルサポートについて



ケーブル、AC アダプタなどは、ケーブルサポートの爪に引っ掛けてください。抜けるのを防止します。

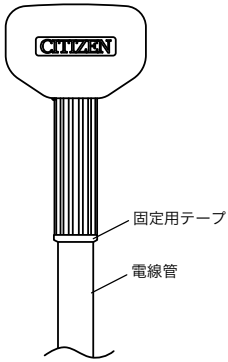
○アンテナの取付方法

1. ポールに固定する方法



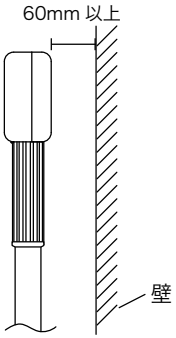
ポールにステンレスクランプなどでアンテナを抱き合わせるように固定します。
※ステンレスクランプはご用意ください。

2. 配管に固定する方法



アンテナ下部のゴム栓をはずして電線管を挿入し、固定用テープ（自己融着テープなど）で巻き付けて固定します。

CITIZEN マークのある面（表裏どちらでも可）を送信所の方向へ向けてください。電源投入後、アンテナの方向を調整し、電波受信状況モニタが緑点滅する方向が感度良好になります。



壁付近に設置した場合、長波アンテナが回らず感度の調整ができなくなりますので 60mm 以上壁から離して設置してください。

動作仕様

○電源投入時

- 電源投入(ACアダプタを挿す)し、ケーブルの正常接続を確認すると(約5秒後)、受信モニタが緑点灯します。
- ケーブルの誤接続時、受信モニタが赤点灯します。
- その後、標準電波を受信すると、受信モニタが緑1秒点滅に変わります。(受信可能場所の目安)
- 受信成功するとアンテナの電源を切り、受信モニタが緑2秒点滅に変わります。

○通常時

- 毎時46分から12分間アンテナの電源を入れ、受信を試みます。
- 48時間以内に受信できている場合には、緑2秒点滅になります。
- 48時間以内に受信できていない場合には、赤2秒点滅になります。

○正時パルス出力

- 正時パルス出力は毎時00分00秒より2秒間接点をONにします。
- 48時間以内に1回も受信できないときは出力しません。

○ RS-232C シリアル信号出力

通信仕様

- 非同期4800bps ASCIIコード
- スタート・ストップビット各1、データ8ビット偶数パリティ
- 1秒間隔(先端同期)で送信します。
- 48時間以内に1回も受信できないときは、NGを出力します。
- 毎時46分から12分間の電波受信中は出力が停止します。

標準電波受信状況確認

1. 長波アンテナ

電波受信状況モニタにて、受信状況を表示します。電源投入から電波受信するまで受信を続け、受信完了と同時に消灯します。毎時４６分から５８分の１２分間、標準電波を受信します。受信中は電波受信状況モニタが点滅します。

緑点滅	標準電波を受信しています。（受信途中です）
赤点滅	標準電波を受信できないか、受信中にノイズが混入しました。

2. 信号変換器

受信モニタにて、受信状況を表示します。

緑点灯	標準電波の受信開始。
赤点灯	長波アンテナと通信できません。 結線を確認してください。
緑点滅（1秒周期）	標準電波を受信中です。受信データの解析中。 受信確定までもう少しです。
緑点滅（2秒周期）	標準電波を受信しました。受信確定。
赤点滅（2秒周期）	標準電波の受信が確定してから48時間以上経過 しています。

電波を受信できない場合

①ケーブル配線をチェックする

信号変換器の電波受信状況モニタが赤色に点灯している場合、電波受信アンテナと正しく接続されていません。この場合、アンテナとの接続が正しいか配線を確認してください。

②アンテナの向きを変えてみる

アンテナの CITIZEN マークのある面を送信所の方角に向けると最大感度方向になりますが、周囲のノイズや建物の影響により最適に受信できない場合があります。この場合、アンテナの向きを変えることで受信状況を改善できることがあります。

③設置場所を変えてみる

周囲の電子機器等や通信ケーブルからのノイズや建物の影響により電波が正常に受信できないことがあります。この場合、アンテナの設置場所を移動することで受信状況が改善することがあります。

④１日動作させて様子をみる

昼間受信できない場合でも、夜中は受信状況がよくなるため受信できる場合があります。この場合、電源投入のまま１日動作させ、信号変換器の電波受信状況モニタが緑２秒周期点滅になっていることを確認することでご使用できます。

⑤長波帯標準電波（ＪＪＹ）が停波している

送信所（福島局、九州局）が保守点検や落雷などで一時的に電波の送信を停止している場合があります。この場合、標準電波の送信再開後に再度動作させることでご使用できます。詳しくは ７ページの「電波時計について」をご参照下さい。

アプリケーションソフトについて

付属のセットアップ CD をご用意ください。

1）概要

本アプリケーションは信号変換器より出力させる信号をコンピュータに取り込んでコンピュータの内蔵時計の時刻を修正するソフトウェアです。修正タイミング、条件などを設定することができ、タイムサーバー機能を有効にすることで、ネットワーク上の NTP クライアントに対して、NTP による時刻合わせも可能になります。

2）仕様

＜アプリケーション・スタイル＞

Windows Vista，Windows7 は通常の Windows アプリケーションとして動作しますが、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003 は、サービスアプリケーションとして動作します。

＜修正時刻の指定＞

毎時または１日２回の修正時刻の指定ができます。

＜起動時に時刻修正＞

アプリケーション起動時に自動で時刻修正を行う設定ができます。

＜許容時間差の設定＞

コンピュータとの時間差を判定して設定時間差以上の誤差があった場合に、時刻修正をしないといった設定ができます。

＜時差設定＞

標準時に対して時差をつけて時刻修正をすることができます。

＜タイムサーバー機能＞

タイムサーバー機能を有効にすることで、ＮＴＰサーバーとして機能することができます。

3）動作環境

3－1．ＯＳ

Microsoft Windows 2000, Xp, Vista, 7(32bit 版)，Server 2003

* Microsoft は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。
Windows XP、Windows 2000、Windows Vista, Windows7，Windows Server 2003 は米国 Microsoft Corporation の商品名称または登録商標です。

3－2．メモリ容量

HDD 2MB 以上の空き容量

3－3．インターフェース

シリアルポートまたは USB-RS232C 変換ケーブル（市販品）を使用の場合は、USB ポート

4）インストール方法

4－1．手順

1．シリアルポートの確認

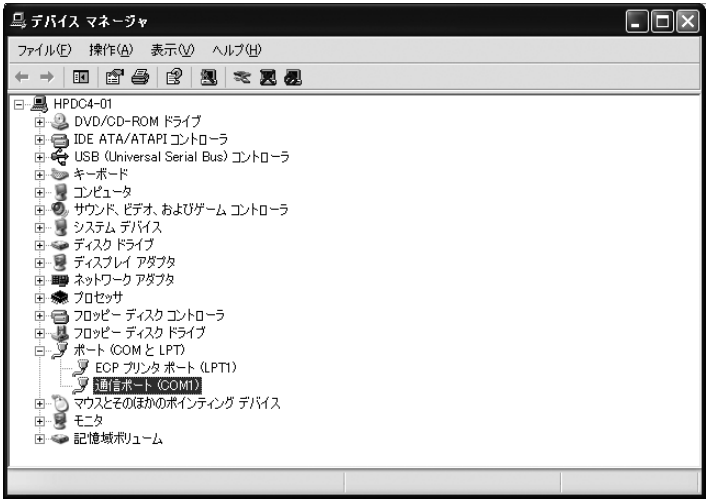
2．アプリケーションのセットアップ

3．OS の設定確認

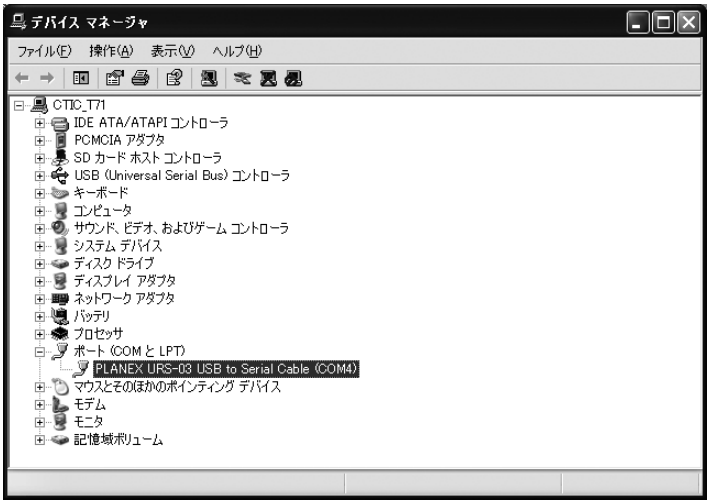
4－1－1．シリアルポートの確認

ご使用のコンピュータのシリアルポートの番号を確認します。USB-RS232C 変換ケーブルを使用する場合は、変換ケーブルの取扱説明書を参照しながらデバイスドライバをセットアップします。

［コントロールパネル］→［システム］→［ハードウェア］タブ→［デバイス マネージャ］ボタン



ポート（COM と LPT）の 通信ポート（COM1）を確認します。（COM1）となっているので、この場合は COM1 を使用していることになります。



上記の場合は、COM4 を使用しています。

この COM ポートの設定をメモしておきます。COM1 でない場合は、後で設定が必要になります。（設定方法については、別項にて説明）

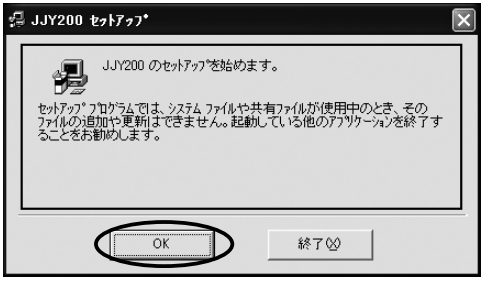
4－1－2．アプリケーションのセットアップ

ご使用の OS に対応したセットアップファイルを使用します。

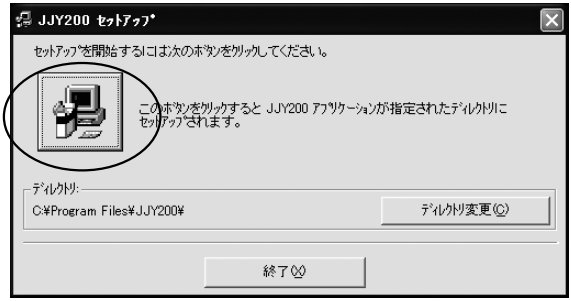
1．Windows XP, Vista, 7(32bit)，server 2003 → セットアップディスクの WinXP_7pack フォルダ
→4－1－2－1 の手順へ
2．Windows 2000 → セットアップディスクの Win2000pack フォルダ
→4－1－2－2 の手順へ
※　Windows7 のセットアップにつきましては、付属のセットアップ CD に含まれる「Windows7 へのインストールについて」も併せてご覧下さい。

4－1－2－1．Windows XP, Vista, 7(32bit)，server 2003

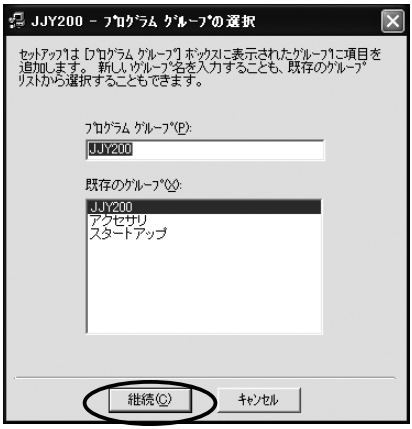
セットアップディスクの WinXP_7pack フォルダの Setup.exe を実行します。



[OK] ボタンをクリックします。



セットアップ先のディレクトリを確認し、[セットアップ] ボタンをクリックします。



[継続] ボタンをクリックします。

[OK] ボタンをクリックします。

次に４－１－２－３の項目のセットアップを継続して行います。

4－1－2－2．Windows 2000

セットアップディスクの Win2000pack フォルダの Setup.msi を実行します。

[次へ] ボタンをクリックします。

インストール先のフォルダを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

[次へ] ボタンをクリックします。

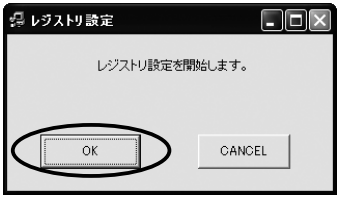
インストールが開始されます。

[閉じる] をクリックします。

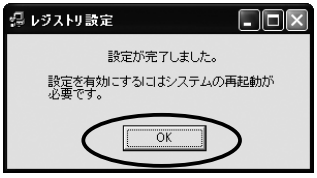
次に４－１－２－３の項目のセットアップを継続して行います。

４－１－２－３．レジストリの設定

それぞれの OS に応じたセットアップフォルダの Setupreg.exe を実行します。



[OK] ボタンをクリックします。



[OK] ボタンをクリックします。

4－1－2－4．シリアルポートの設定

4－1－1 のシリアルポートの確認において、COM1 でないポートを使用する場合、COM ポートの設定が必要です。例えば COM3,COM4 など

セットアップ先のフォルダの setting.ini ファイルを編集します。

setting.ini ファイルを開き、その 2 行目の port の値を使用している COM ポートの値に書き換えます。

例）COM4 の場合

○編集前
[COMM]
port=1

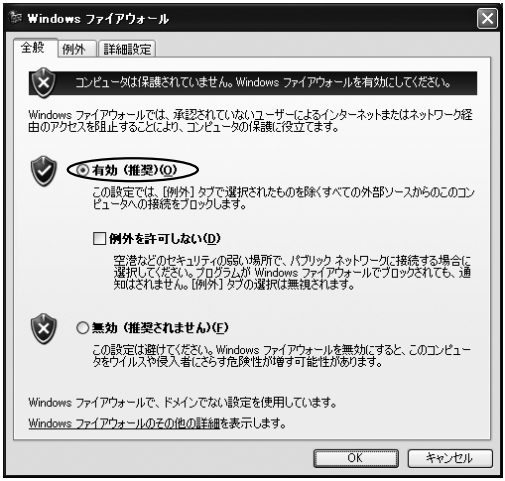
○編集後
[COMM]
port=4

以上のセットアップを行った後、コンピュータを再起動します。

4－1－3．OS の設定確認

タイムサーバー機能を有効にして、NTP クライアントから時刻取得を行いたい場合、Windows のファイアウォールの設定によりブロックされてしまう場合があります。
本ソフトウェアをインストールしたコンピュータのファイアウォールの設定を変更することで対応できます。

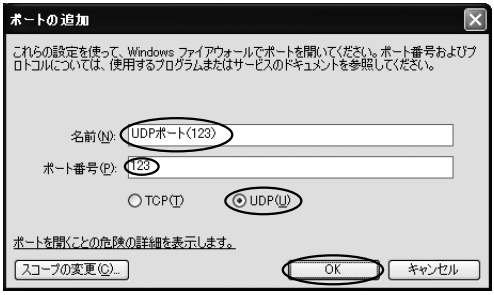
[コントロールパネル] → [セキュリティ センター] → [Windows ファイアウォール]



[全般] タブ：有効

もし無効に設定している場合は、以降の設定は必要ありません。

[ポートの追加] をクリックします。

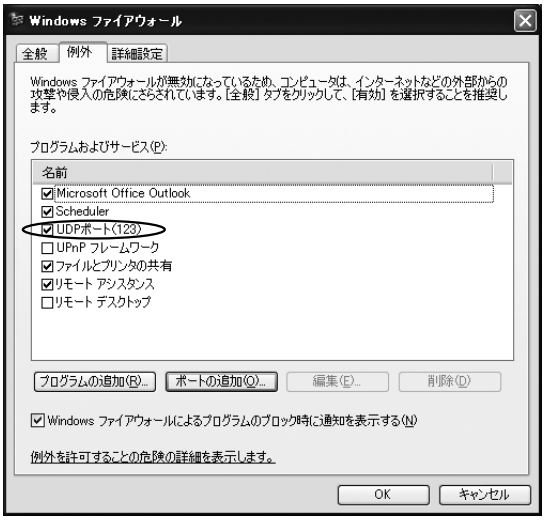


名前 :UDP ポート（123)・・・適当な名前を入力してください

ポート番号 : 123

UDP を選択

[OK] ボタンをクリックします。



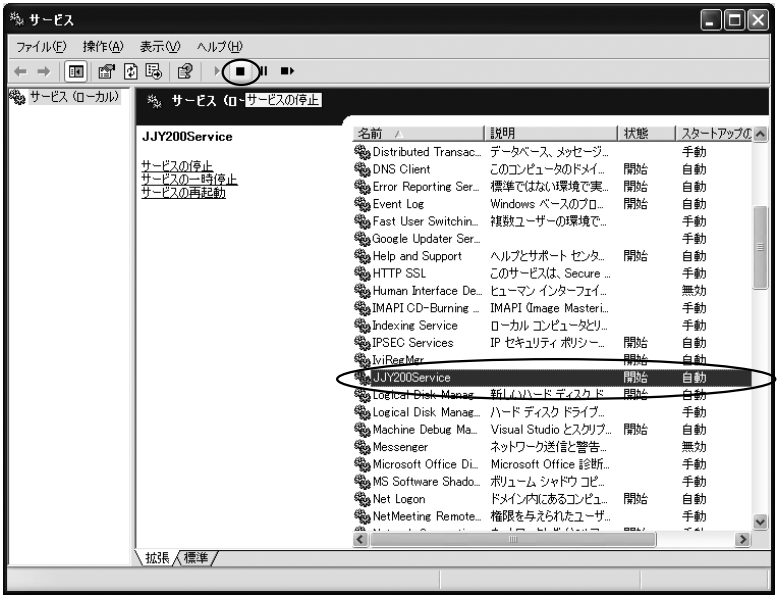
UDP ポート (123) が追加されました。

5）アンインストール方法

5－1．手順

タスクバーのアイコンを右クリックし、[終了] を選択し、アプリケーションを終了します。

[コントロールパネル] → [管理ツール] → [サービス]



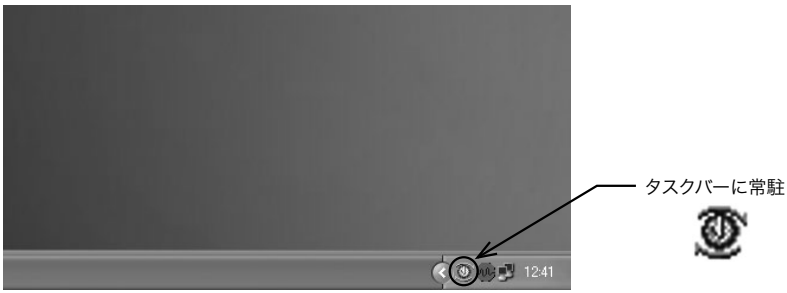
JJY200Sevice を選択して、[サービスの停止] ボタンをクリックして停止させます。(Windows Vista ではこの操作は不要です。)

セットアップ先のフォルダの中の srv200del.bat を実行します。
　通常　c:¥program Files¥JJY200 にあります。

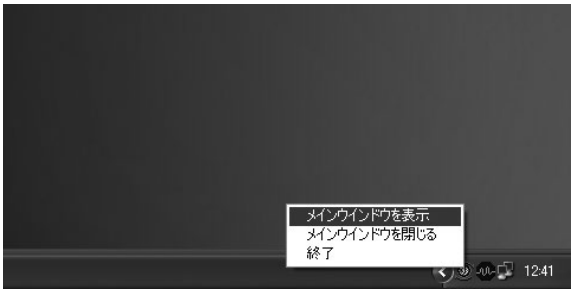
[コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除] → [JJY200] を選択し、削除を実行します。

6）アプリケーションスタイル

本アプリケーションを起動すると Windows の右下のタスクバーにアイコンが表示されます。指定の時刻になると JJY-200SC 信号変換器から時刻を取得しパソコン内の時計を修正します。



6－1．動作画面



タスクバーのアイコンをクリックします。もしくはアイコン上でマウスを右クリックし、［メインウィンドウを表示］を選択すると、メインウィンドウが表示されます。

①運用・停止を切り替えます。

②現在の状況を表示します。

③時刻合わせ (ADJUST) ボタン

パソコン内の時計を最新時刻に修正します。電波受信前や電波受信中は使用できません。

④設定表示 (SETTING) ボタン

［設定表示 (SETTING)］画面が表示されます。

6－2．設定画面

メインウィンドウの 設定表示 (SETTING) ボタンを押すと、設定表示ウィンドウが表示されます。

①時刻修正タイミング (TIMING)
自動的に修正する時刻を設定します。設定した時刻になると、パソコンの時刻を修正します。

・毎時 (EVERY HOUR)
1 時間ごとに時刻を修正します。

・指定時刻 (SPECIFIED TIME)
1 日に 2 回、設定した時刻に時刻を修正します。

②起動時動作 (START UP)
本アプリケーション起動時に、自動的に時刻を修正するかを設定します。

③許容時間差 (PERMISSIBLE TIME)
パソコンの時刻と、取得した時刻との許容時間差を設定します。

設定範囲は 0 ～ 99999 秒です。設定値以上の誤差があった場合、パソコンの時刻は修正しません。　また、外部ノイズなどによる誤データ入力防止の為にも設定することを推奨します。

・なし (DISABLE)
無条件にパソコンの時刻を修正します。
※ 受信環境が悪い場所やノイズ混入により、誤データが入力される事を防ぐため、通常は「なし」に設定しないで下さい。

④時差設定 (TIME DIFFERENCE)
時差の設定をします。

⑤ NTP サーバー機能 (NTP SERVER)
ＮＴＰサーバーとして使用するか、設定します。

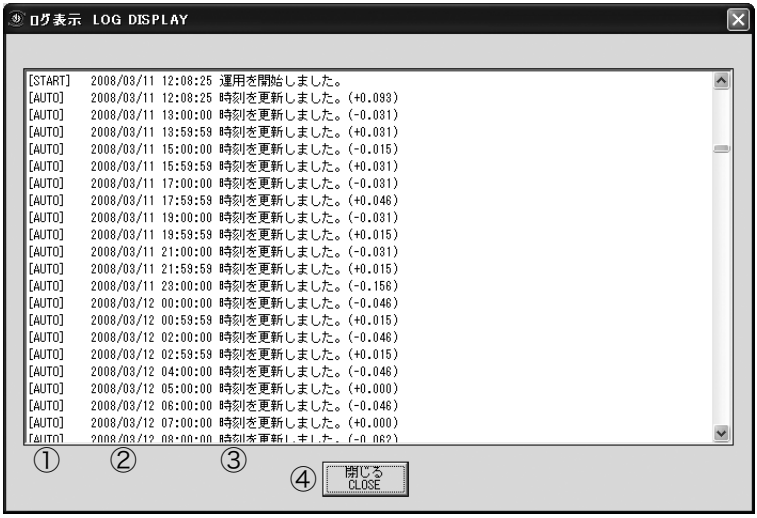
⑥ログ表示 (LOG DISPLAY) ボタン
［ログ表示 (LOG DISPLAY)］ウィンドウを表示します。

⑦キャンセル (CANCEL) ボタン
設定を中止し、ウィンドウを閉じます。

⑧設定 (SET) ボタン
設定を反映し、ウィンドウを閉じます。

6－3．ログ画面

設定表示ウィンドウの ログ表示(LOG DISPLAY) ボタンを押すと、ログ表示ウィンドウが表示されます。



①ステータス
動作状況を表示します。

②パソコンの時刻（年・月・日・時・分・秒）
JJY-200SC 信号変換器から時刻を取得した時のパソコンの時刻を表示します。

③メッセージ
動作内容を表示します。

④閉じる (CLOSE) ボタン
ログ表示ウィンドウを閉じます。

7）こんな時には

現象	原因	対策
セットアップ後、再起動した際に「起動できません」エラーが発生する。	ＣＯＭポートの設定がされていないか間違えています。	シリアルポートの設定をします。４－１－２－４参照
セットアップ時に「Path or File Not Found」「次のラベルのディスクを挿入してください～」「ディスク０をセットしてください」エラーが発生する。	全角文字のユーザー名でログインしている場合に、左記のエラーが発生する場合があります。	半角文字のユーザーアカウントを作成し、Windows再起動後に作成したユーザーでログインして、インストールを実行してください。
メインウィンドウの時刻合わせボタンが押せない。	システム導入時：電波が受信できていません。	電波の受信環境を確認してください。
	運用中：電波の受信中です。	電波受信が終わるまでしばらくお待ちください。（毎時 46 分～ 58 分はボタンが押せません）
ときどき時刻の修正幅が大きくなる。	Windows のネットワーク構築の際に Active Directory 環境下のクライアントマシンはドメインコントローラに自動的に時刻同期されるため、仮にドメインコントローラの PC の時刻が正確でない場合、この影響で時刻がずれることがあります。	本システムをドメインコントローラーの PC に導入し、時刻を正確に保つようにしてください。
ログメッセージに「パリティエラーが発生しました」「フレームエラーが発生しました」が表示される。	データ通信中にケーブルの抜き差しを行った場合や、ケーブルの接続が悪い場合に発生します。	配線を確認してください。

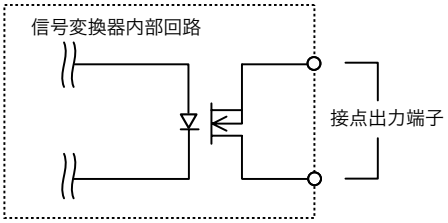
出力信号の詳細

●無電圧接点信号

1．接点出力の形式
接点出力信号は電波受信後の毎正時に２秒間、出力回路の接点を閉じます。（回路はフォトリレーを使用した電子スイッチです）標準電波が受信できなくなった場合、最後に受信してから 48 時間以上経過後に出力を停止します。再度、受信すれば出力が再開されます。

2．接点の出力定格
印加可能電圧：DC24V 以下
最大電流：200mA

3．接点出力回路構成



4. 接点出力回路

5. 接続可能ケーブル
単　線：　Φ0.4 mm (AWG 26) ～ Φ1.2(AWG 16)
撚　線：　Φ0.3 mm (AWG 22) ～ Φ1.25(AWG 16)
素線径：　Φ 0.18 mm以上

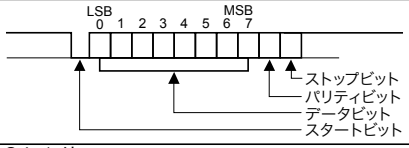
● RS-232C シリアル信号

標準電波受信後から出力を開始します。また標準電波受信中の毎時４６分～５８分の間、電波受信中は出力を停止します。

1. 通信規格

RS-232C

2. 通信仕様

データ転送方式	調歩同期(非同期)	
通信方式	単方向	
伝送速度	4800bps 固定	
伝文様式	1ブロック1テキスト	
伝送コード	ASCIIコード	
ビット構成 11bit	スタートビット　1bit	データビット　8bit
	パリティビット　1bit	ストップビット　1bit
パリティ	偶数	
ビット配列		
1フレーム	24バイト	
送信間隔	1秒間隔	

3. 送信内容

順番	内容	例
1	アポストロフィ	’
2	OK(受信できている)　または	OK
	NG(受信から48時間以上経過)	
	ER(通信エラー)	
3	スペース	
4	年／月／日(年は西暦下2桁)	07/04/20
5	スペース	
6	曜日(0:月、1:火、2:水、3:木、4:金、5:土、6:日)	4
7	スペース	
8	時:分:秒(24時間制)	12:34:56
9	改行(CR)	(CR)

製品仕様

○長波アンテナ

ケース	ポリカーボネート樹脂製　ライトグレー
受信周波数	長波帯標準電波 40kHz/60kHz 自動選択方式
受信状況	ＬＥＤ表示
使用温度範囲	-20℃ ～ +60℃
出力信号	シリアル信号
質　　量	約 0.3kg（ケーブル含まず）

○信号ケーブル（アンテナー信号変換器間　最大 500m迄）

線色	内容
緑	RX-
白	RX+
黒	GND
赤	12V

○信号変換器

ケース	AES 樹脂製　ブラック
入力信号	シリアル信号
出力信号	(1) 無電圧接点信号　２系統
	(2)RS-232C シリアル信号　１系統
時間精度	長波帯標準電波を受信時　積算誤差０秒
	単独動作時　25℃　平均月差 ±３０秒
受信状況	LED 表示
使用温度範囲	0℃ ～ +40℃
使用湿度範囲	85%以下（結露しないこと）
質量	約 0.2kg

○AC アダプタ

入力電圧	AC100V　50/60Hz
出力電圧	DC12V　1A
電気安全法	PSE 適合
質量	約 0.2kg

○PC 接続用ケーブル (1.5m)

ピン番号	線色	内容
1	−	−
2	白	TXD 送信データ
3	−	−
4	−	−
5	黒	信号用グランド
6	−	−
7	−	RTS 送信要求 (8 番ピンと接続)
8	−	CTS 送信可 (7 番ピンと接続)
9	−	−

○有害物質規制

RoHS 指令対応

アフターサービスについて

○修理可能期間について
無償保証での修理はお買い上げ日より1年間です。それ以降は有償となりますがご対応します。ただし、高額の修理部品、困難な修理、送料などで修理代金が高額になることがありますのでご注意ください。

○修理部品の保有について
修理用部品は製造打ち切り後、7年を基準に保有します。ただし、外装部品と信号変換器用のアダプタの修理は類似品で対応させていただくことがございます。

○設置場所の変更について
一度取付けた後に設置場所を変更する場合は、長波アンテナが長波帯標準電波(JJY)を受信できるか確認してください。もし長波帯標準電波が受信できない場合はご相談ください。

お問い合わせ

ご不明な点がございましたら下記にお問い合わせください。
製造発売元　シチズン TIC 株式会社　http://tic.citizen.co.jp

■東京支店
〒184-0013　東京都小金井市前原町5丁目6番12号
TEL.042-386-2293(代)　　FAX.042-386-2222

・札幌営業所
TEL.011-398-3350(代)　　FAX.011-398-3351

・仙台営業所
TEL.022-393-4078(代)　　FAX.022-393-4079

■名古屋支店
〒465-0865　名古屋市北区下飯田町4丁目26番2号
TEL.052-991-8600(代)　　FAX.052-991-8603

■大阪支店
〒536-0023　大阪市城東区東中浜8丁目3番20号
TEL.06-6961-8663(代)　　FAX.06-6961-8680

■福岡支店
〒812-0026　福岡市博多区上川端町8番18号
TEL.092-281-0020(代)　　FAX.092-281-0112

・広島営業所
TEL.082-229-2501(代)　　FAX.082-229-2502

※ 所在地・電話番号が変更になることがありますがご了承ください。

保　証　書

この製品が取扱説明書にもとづく通常のお取り扱いにおいて、万一保証期間内に自然故障がおきた場合には、本保証書を現品に添えて、お買い上げの販売店または弊社支店・営業所にご持参くだされば、無料にて修理・調整させていただきます。
この保証書は、ご購入店で発行いたします。
必ずご購入店様に ※ 印の所のご記入をいただき大切に保管してください。

品名・型式	JJY-200
お名前	
ご住所	〒
TEL	(　　)　　–
※ ご購入店	
※ ご購入日	年　　月　　日
保証期間	ご購入より 1 年間

保証書は再発行いたしませんので、大切に保存してください。
この保証書は、国内のみ有効です。

シチズンTIC株式会社
ホームページアドレス　http://tic.citizen.co.jp

H25.01

DDm1304.25.01.00.WD(3)